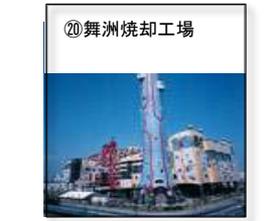


大阪コスモスクエア駅周辺地域の まちづくりについて

臨海部の状況



産業・物流機能
+
観光拠点化の検討
(土地利用・交通インフラ)



咲洲コスモスクエア地区の立地施設

①日立造船



○地区内に立地する主な企業・施設等
(グローバル企業)

- ①日立造船(株)大阪本社ビル
環境装置、プラント等の設計、製作等を国際的にも展開。
- ②ミズノ大阪本社ビル
日本のスポーツ品産業界をリード。世界でも屈指の総合スポーツ品メーカー
- ③日本IBM
世界に情報システムの製品やサービスを提供。

(国際会議場など)

- ④インテックス大阪
日本でも有数の国際交易拠点国際展示場(約7.3h)

(宿泊施設)

- ⑤ハイアットリージェンシー大阪(480室)
日本独自のおもてなしとホテルの快適さを併せ持つシティ・リゾートホテル。
- ⑥コスモスクエア国際交流センター(320室)
研修施設、スポーツ施設も充実した国際交流を担う人材育成施設

(商業施設)

- ⑦ATC(アジア太平洋トレードセンター)
複合型商業施設(業務・飲食・物販、大型ホールなど)であり、海沿いを歩くことがでて、日没が真正面に見える。商業は、ファミリー層、子供をターゲットに展開

(教育施設)

- ⑧森ノ宮医療大学
伝統医学と現代医学の融和と補完を通じて、専門職医療人を育成
- ⑨大阪エンタテインメントデザイン専門学校(上田学園)
キャラクターコンテンツ学科・タレント学科、コンテンツ人材を育成
- ⑩金剛学園
韓国政府が認可した世界最初の海外韓国学校、大阪府認可の私立学校

(業務サポート機能)

- ⑪台湾貿易センター
- ⑫大阪入国管理局

(行政施設)

- ⑬大阪府咲洲庁舎

○近接するテーマパークなど

- ・USJ(コスモスクエア駅から約7km)
此花区にある世界最高水準のエンターテインメントを集めたテーマパーク
- ・海遊館(水族館)(コスモスクエア駅から約3km)
大阪天保山にある世界最大級の水族館

⑤ハイアットリージェンシー大阪



⑦ATC



⑧森ノ宮医療大学



③日本IBM



④インテックス大阪



⑬大阪府咲洲庁舎



大阪コスモスクエア駅周辺地域 建設中のプロジェクト等

森ノ宮医療大学 2期建設事業
3学科の増設
平成28年3月竣工予定



製品評価技術基盤機構 (NITE)
大型蓄電池等の試験評価施設等
平成28年3月竣工予定



コスモスクエア駅

トレードセンター前駅

大阪府咲洲庁舎

A.T.C

インテックス大阪

中ふ頭駅

南港ポートタウン線

最先端低体温研究施設
温泉を活用した医療・研究などの複合施設
平成29年9月竣工予定



-  都市再生緊急整備地域
-  特定都市再生緊急整備地域
-  都市開発事業

周辺臨海部の拠点の動きを踏まえたコスモスクエアのまちづくりの展開

【夢洲】

- ・コンテナターミナルと広大な敷地を活かした拠点形成
 - ・環境エネルギー技術開発産業・物流拠点
- +
- 観光拠点化の検討

【咲洲南港ポートタウン】

- ・100ha、1万戸、緑と空間にあふれた、エリア全体がノーカーゾーンであり、健康で心豊かに暮らせるまち
- ・小中一貫校化による教育環境の向上と、その跡地の有効活用など

【舞洲】

- ・民間活力によるスポーツ・レクリエーション拠点の活性化
- ・環境・物流施設の拠点

【此花西部】

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
宿泊機能の拡充

【築港・天保山】

海遊館
クルーズ船母港化
赤レンガ倉庫の活用

【鶴浜】

家具の商業施設の集積
IKEA鶴浜
東京インテリア家具進出

大阪コスモスクエア駅周辺地域

(現状)(約80%の土地利用)

業務・商業の都市機能の集積
MICE施設

環境・エネルギー技術開発
特色のある教育施設の集積
付加的な規模の住機能

(目標)

多様で高度な都市機能の集積
ウォータフロントなどの水辺の特性を生かした土地利用を展開(残り約25ha(約20%))

(目標実現に向けた取り組み)

○人・もの・投資を呼び込む環境づくり

(短期的な取り組み)

- ・駅周辺の一体的な開発の誘導
- ・進出企業と行政連携による地域防災性向上
- ・環境・エネルギー技術開発による拠点形成
- ・公民連携によるにぎわいづくり
- ・まちの取り組みのプロモーション

(中長期的な視点)

周辺拠点のまちづくりと連携、役割分担しながら、関西の発展をけん引する大阪臨海部の中核として、導入機能の拡充・更新など、社会情勢に即応したまちづくりを展開